

北海道大学病院に入院された
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当薬剤部では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 救急/集中治療領域における実測クレアチンクリアランスを用いたバンコマイシン初期投与設計の有用性評価

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者] 菅原 満 北海道大学病院薬剤部 薬剤部長

[研究の目的] お薬の多くは腎臓で排泄されるため、腎臓の機能が低下している患者さんでは投与量を減らすなどの調節が必要になります。腎機能の評価には、血清中のクレアチニン値から算出する推算クレアチンクリアランスが一般臨床において広く使用されています。しかしながら、この推算クレアチンクリアランス算出の際に用いられる「Cockcroft-Gault 式」は、救急治療の領域では、あまり精度が高くないことが報告されています。先行研究においては、血清中のクレアチニン値の他に尿中のクレアチニン値と尿量を用いた実測クレアチンクリアランスが推算式よりも、腎機能評価の精度が高いことが知られています。

本研究では、抗菌薬の1つであるバンコマイシンの投与データ（投与量、血中濃度）と臨床検査値（血清中クレアチニン、尿中クレアチニン、尿量など）を後方視的に検討することで、実測クレアチンクリアランスを用いてシミュレーションソフトによるバンコマイシンの投与設計の有用性を検証することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2014年4月～2020年3月までに当院救急科/集中治療室（ICU）に入室した患者さん

●利用する診療録情報

年齢、性別、身長、体重、尿量、臨床検査値（sCr、uCr、Alb など）、主疾患、感染症疾患、バンコマイシンの投与データ（投与量、血中濃度）、体外循環補助の使用有無、併用薬

[研究実施期間]

実施許可日～2022年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせするこ

とができます。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に診療録や薬歴簿情報等を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 薬剤部 担当者 三上 龍生

電話 011-706-3455